

# First stage

～気候変動を知る・学ぶ～

【日時】

2025年7月27日(日)

10:00～16:00

【場所】

ルルサス防府多目的ホール  
(防府市)

【受講】

高校生 8名

大学生 7名



目的:

気候変動って何？ 専門家や企業の方から対策と課題について学び、参加者との交流や意見交換を通して、取り組みたいテーマを決める。

【講師】

なぎさ水族館 内田博陽

(株)トクヤマ 友村浩二郎

(株)ファーストリテイリング 中村浩一郎

(一社)レベルフリー 坂本京子

徳山動物園 木原一郎

防府市青少年科学館ソラール 原田誠大

山口県気候変動適応センター 元永直耕



講義



ランチ交流会



意見交換会



# 地球温暖化がすすむと、私達の生活はどうなる？

動物や植物が少なくなる

食べ物が少なくなる

病気(伝染病)が増える

森林火災が増える

海水が増えて陸地が減る

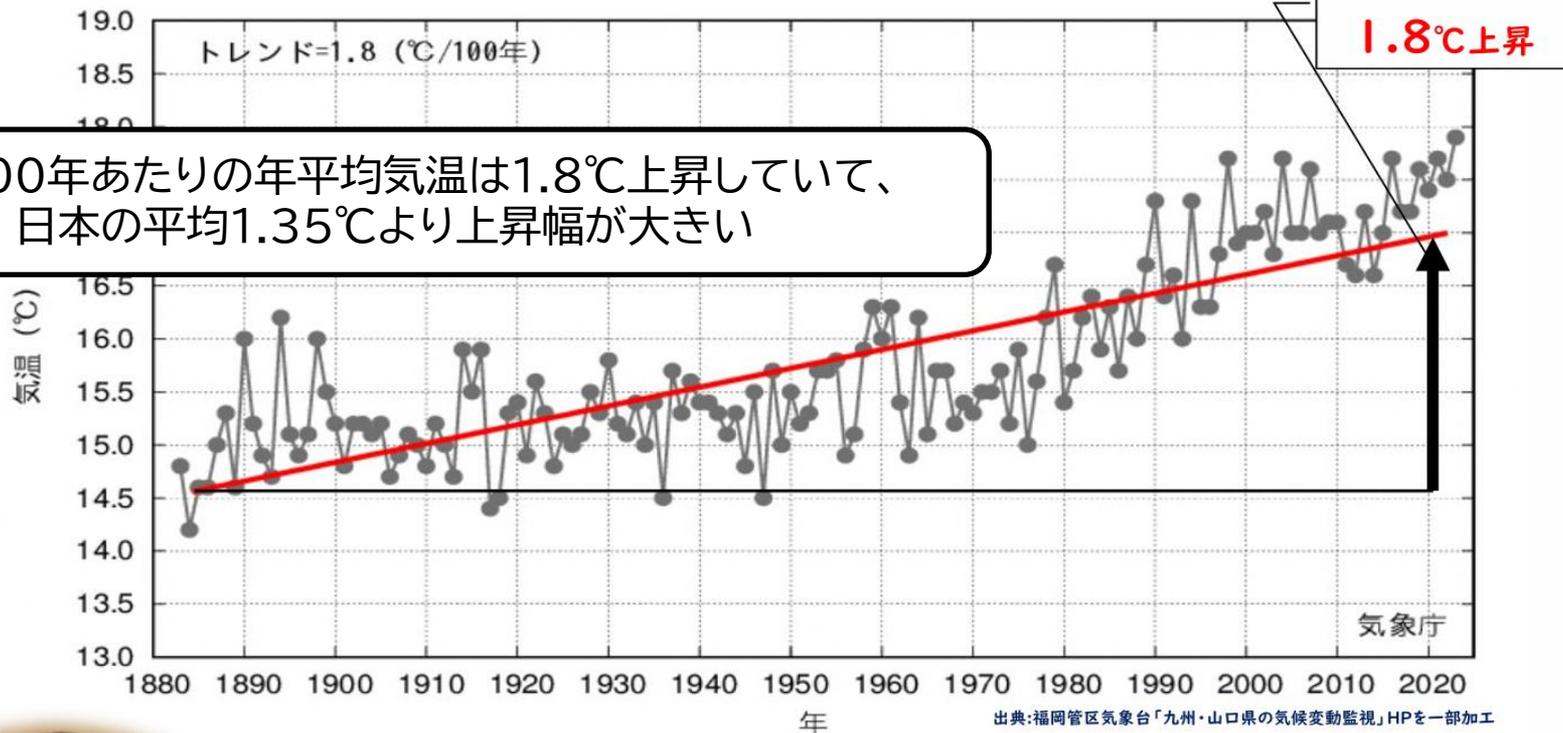
熱中症になる人が増える

気象災害が増える



(一社)レベルフリー代表理事  
坂本京子

近年の災害は甚大化、広域化するばかりで、春から秋にかけて豪雨、冬は大雪と一年を通して脅威に見舞われている。気象に関しては過去のセオリーが通用しない状況に。温暖化がすすむことで、季節が変わり、暮らしがかわる。



山口県気候変動適応センター  
専門研究員 元永直耕さん

## 雨の降り方の極端化

### 21世紀末の予測

傘は全く役に立たなくなる  
ような降り方です

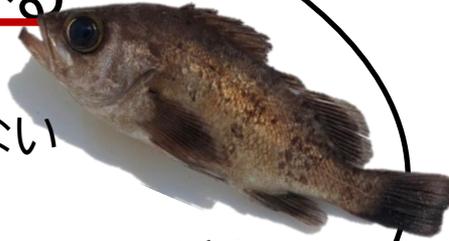


土砂災害や濁水等  
のリスク増加

20世紀末と比べて、九州北部地方の  
1時間降水量50mm以上の年間発生回数は、  
2°C上昇シナリオでは約**1.6倍**、4°C上昇シナリオでは約**2.8倍**に増加  
雨の降らない日は年間で、4°C上昇シナリオでは約**9日**増加  
2°C上昇シナリオでは変化傾向は見られません

## 日本の食文化が変わる

ナマコ 海藻 メバル  
成長しない 成長しない めっきり獲れない



アマモ	ミズクラゲ	タチウオ	クジメ	ゴンズイ	キュウセン	
ハスノハカシパン	イカナゴ	ユウレイクラゲ		ウミサボテン	ウニ	マボヤ
サツキマス	ミズクラゲ	セトガイ	ホンペラ	アワビ	マコガレイ	
カミクラゲ	マアジ	マダコ	ニンジンイソギンチャク	クロソイ	トコブシ	
アカテガニ	サワラ	ギバサ	オニオコゼ	アイナメ		サザエ
	ミミズハゼ	トゲクリガニ				
	ヒジキ					

ヒジキ  
獲れない

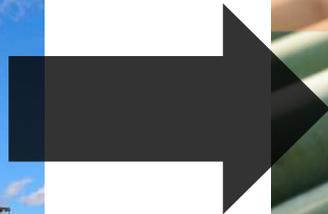
## 水族館としての存続

夏場の磯の観察会が猛暑により中止  
(7~9月は屋外活動が難しい)  
(今年岩国での観察会は水温42度を記録)

展示する生物が変更になり、計画がたてづらい

なぎさ水族館学芸員  
内田博陽さん





竹×レノファ山口×周南市×トクヤマ  
＝竹クラーベ

竹を伐採 ➡ 竹クラーベ製作 ➡ レノファの試合 ➡ 電気を作る！



(株)トクヤマ トクチャレチームリーダー  
友村浩二郎さん

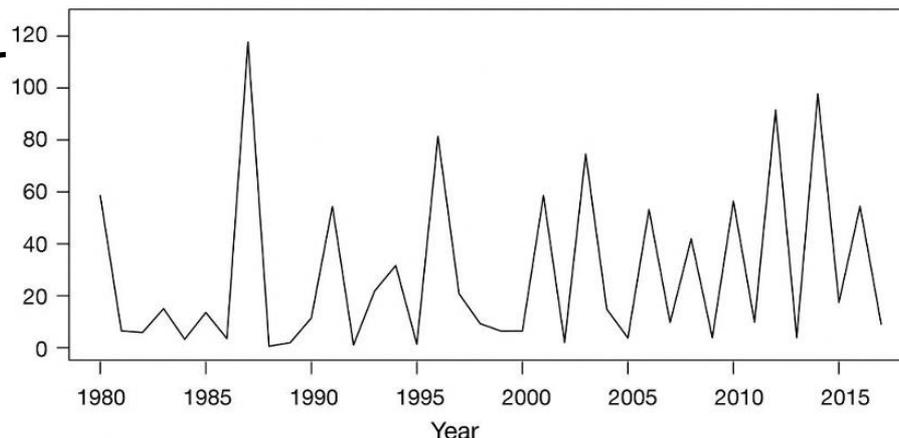


夏が長く、秋が短くなってきていることで、秋の自然を感じられるイベントが企画しづらい

秋のない沖縄にドングリや紅葉を送る活動



防府でも供給が不安定になってきている



温暖化で豊作と凶作のスパンが短くなっている！？

身近な自然を面白がるのが、行動変容の第一歩！

防府市青少年科学館ソラール 学芸員  
原田誠大さん

## アパレル産業

全産業で2番目に多く水を消費していて、世界の排水量の20%を占める。全産業で2番目に多くCO2を出していて、水質汚染の20%はアパレル産業が原因



衣類の洗濯により、毎年50万トン(ペットボトル500億本相当)のマイクロファイバーが海に流出  
→海中のマイクロプラスチックの35%は化学繊維を洗濯したことで海に流れ込んだと推測

2030年度までに全世界の店舗・オフィスで再生可能エネルギーの利用100%を達成する。

(株)ファーストリテイリング コーポレートサービス部  
中村浩一郎さん

マイクロプラスチックによる海の汚染と水の消費について学びながら、身近にできる対策として書道部の筆を洗う時に大量に出る汚水対策を考える。墨汁排水を使った墨染をする

貧困の国への服の支援は、環境面から考えると必ずしもプラスとはいえない。洗濯の工夫などから、相対的・絶対的貧困率を少しでも下げることができないか。

気候変動の影響を身近な植物や昆虫がすでに受け始めていることを知ってもらうため、大学構内の自然観察会の企画・実施。学生や市民と共に市民科学の可能性を探る。

大雨を逆手にとった、家庭での雨水の発電ができるか？

竹の皮と葉を利用した紙づくりを通して、放置竹林問題と里山の保全を通して環境を考える。

洗濯の仕方での水の消費やマイクロプラスチックの流出が防げることを知らせたい。バーチャルウォーターによる環境対策。

浜辺に捨てられた廃材をつかって3Dプリンターでフィギュアをつくる。漁師さんの協力で海底にたまったゴミの調査。発砲スチロールのゴミの利用を考える

令和7年度

山口県環境政策課 (一社)レバロ

